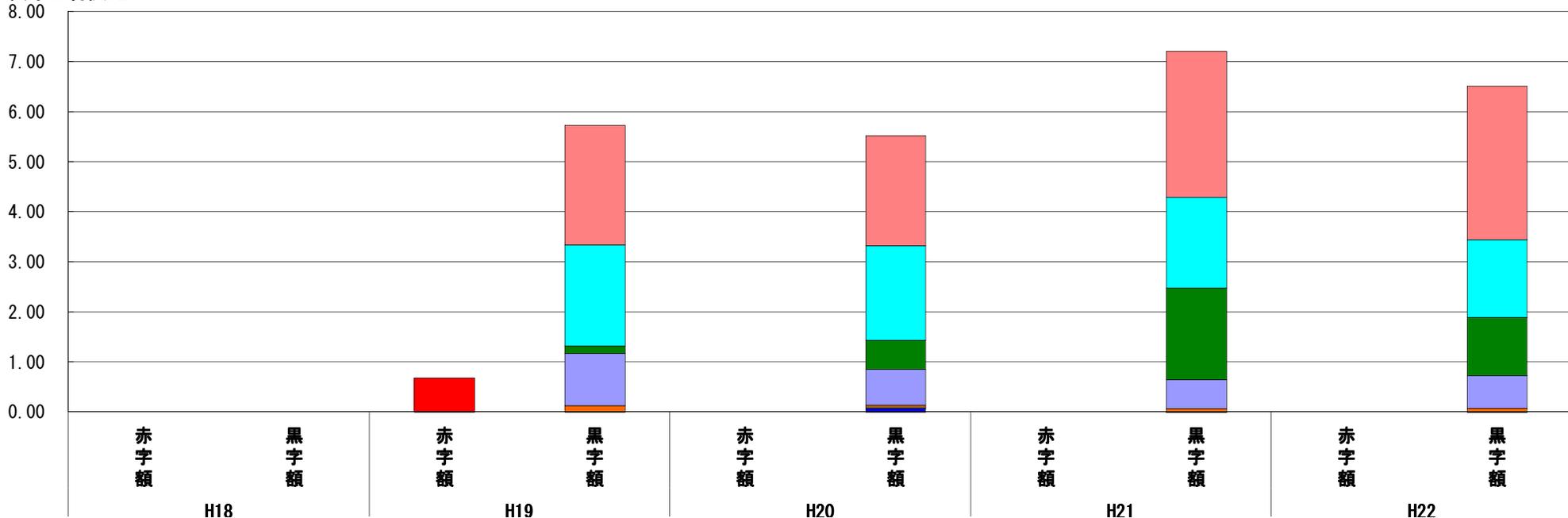


(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成22年度

秋田県能代市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H18	H19	H20	H21	H22
一般会計		-	2.39	2.21	2.92	3.06
能代市水道事業会計		-	2.02	1.88	1.81	1.55
能代市国民健康保険特別会計（事業勘定）		-	0.15	0.58	1.83	1.17
能代市介護保険特別会計（保健事業勘定）		-	1.04	0.72	0.58	0.65
能代市下水道事業特別会計		-	0.13	0.04	0.05	0.07
能代市後期高齢者医療特別会計		-	-	0.02	0.01	0.01
能代市浄化槽整備事業特別会計		-	0.00	0.00	0.00	0.00
能代市農業集落排水事業特別会計		-	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	▲ 0.68	-	-	-
その他会計（黒字）		-	0.00	0.08	0.01	0.00

分析欄

連結実質赤字比率については、平成22年度においても各会計にて赤字は発生しておらず、前年度より減少したものの標準財政規模比で6.5%の黒字を確保した。黒字幅が減少した要因としては、水道事業会計において現金預金残高の減及び未払消費税の増等により資金剰余額が減少したことや、国民健康保険特別会計において前期高齢者交付金の精算等により実質収支が減少したことが挙げられる。

今後、一般会計については、人件費の抑制などの行財政改革を推進し、義務的経費の抑制に努め、比率上昇を図っていく。また、公営企業・公営事業については、独立採算の原則に立った使用料の改定や確保を図り、財務の健全化に努めていく。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。